

# 『「食」を通じてローコスト・ハイクオリティ社会の実現を目指すプロフェッショナル人材の育成』 ～佐用風土(Sayo Food)を活用したモデルプランの構築～

## 【研究開発の背景】

佐用町の強みと弱みを課題設定の主軸に捉え、佐用高校家政科での学びにリンクさせた上で、協働事業を考察することでカリキュラム開発に繋げる。その中で生徒のさらなる能力向上と地域への貢献を同時に展開することを目標とする。

### 佐用町の強み

- 「播磨国風土紀」が記す歴史と伝統
- 肥沃な土壌
- 兵庫・岡山・鳥取を結ぶHUB TOWN

### 佐用町の弱み

- 老年人口率40%（全国平均の1.5倍）
- 急激な人口減少（5年間で半減）
- 大規模河川災害

## 「食」に通じた、佐用を支えるプロフェッショナル人材の育成

### 佐用高校課題解決3施策

- 「佐用風土(Sayo Food)」商品開発
- 「高校生訪問サービス」実施
- 「保存食・非常食」開発

### 佐用町課題解決3方針

- 佐用の特産品を活用（商品開発・マーケティング）
- 佐用で暮らす人を守る（健康寿命延伸）
- 佐用の水害から学ぶ（安全安心な町づくり・災害レジリエンス）

## 【実施体制】

### 商品開発

佐用町×企業×佐用高校による商品開発会議を月に1回開催、商品化

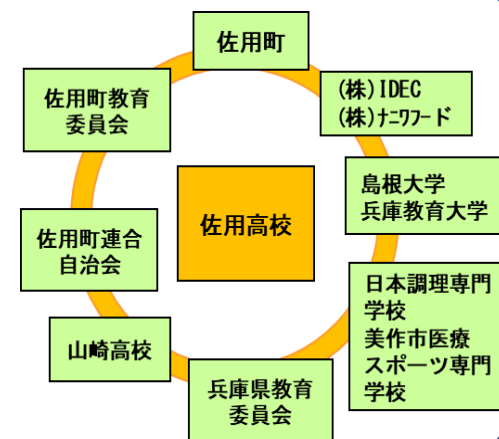
### 健康寿命

佐用町社会福祉協議会×佐用高校によるボランティア活動の実施

佐用町教育委員会×佐用高校による食育活動

### 防災学習

佐用町保健福祉課×佐用高校による防災学習



## 【令和2年度の目標】

- 分野にとらわれない基礎学力と基本的な技術を身につける。
- 課題探究活動行う中で、生徒の主体性を伸ばし、コミュニケーション能力を養う。
- 研究成果の広報や発表を通じて、プレゼンテーション能力を身につける。

## 【取組状況】

### 協働先

- ・佐用町 企画防災課 保健福祉課 社会福祉協議会
- ・IDEC
- ・ナニワフード
- ・佐用消防署
- ・瓜生原亭
- ・佐用保育園
- ・利神保育園
- ・子育て支援センター
- ・佐用小学校
- ・美作市スポーツ医療看護専門学校

佐用の特産品を活用  
(商品開発・食育活動・  
開発商品の広報・販売活動)



商品開発会議の実施

佐用で暮らす人を守る  
(高齢者食生活調査・  
食改善レシピ開発)



佐用町へ手作りマスク贈呈式

佐用の水害から学ぶ  
(災害時保存食開発・  
避難時支援者育成)



防災バッククッキング講習会



「高校生カフェ」in.瓜生原



給食サービスボランティア



佐用消防署へミニ消防服の贈呈

## 【成果】

### 商品開発

- 「佐用もち大豆コンテスト」で佳作に3名入賞
- 「西播磨フードセレクション2020」で開発商品の夢茜トマトジャムが金賞を受賞
- 開発商品の広報活動における企画運営力の向上

### 健康寿命

- 「美作市スポーツ医療看護専門学校」での研修会により、福祉に関する専門知識と車椅子や健康レクリエーションの実技能力の向上
- 地域の特産物を用いた幼児に向けての「食育」活動の実施
- 地域住民に向けての生活改善アンケートの考案
- 幼児から高齢者まで幅広い年代に対しての献立作成能力の向上

### 防災教育

- 佐用町の水害被害学習による防災意識の向上

### その他

- 地域との協働による体験活動の中で生徒の主体性が育まれ、資格取得や学力向上意識の高まりがみられた一例
- 全国高等学校家庭科技術検定「四冠王」を取得
- 「色彩検定」受験者と取得者の増加

## 【課題】

- 新しい生活様式をふまえた「高校生訪問サービス」の実施
- タブレット端末を使ったりリモート活動の充実
- 全職員に向けた活動内容の周知
- 学校全体としての教科横断的な取組